

地域医療連携だより

2016年10月

■循環器内科からのご案内

循環器内科診療顧問・久保医師から地域の先生方へ。

▶▶こんな患者さまはいらっしゃいませんか？

足が冷たい。

下肢の冷感、膝から下の動脈狭窄が疑われます。多くが血管内治療にて治療可能です。

歩くと痛くて休んでしまう。

腸骨動脈から浅大腿動脈にかけての動脈狭窄や閉塞が疑われます。この領域は近年の血管内治療の目をみはる進歩により、侵襲の大きい手術は第一選択ではありません。

足指の色が悪い。足がむくむ。

膝から下の血管閉塞や高度狭窄が疑われます。血管内治療とともに、内科、形成外科、血管外科との集学的治療を必要とします。深部静脈血栓症では、片側の足がむくみ腫れます。薬物治療とともに血管内治療も有力な選択肢です。

危険因子が重複している方

冠動脈疾患と同様、高血圧、糖尿病、喫煙、高脂血症、肥満は下肢閉塞性動脈硬化症の重大な危険因子です。それとともに忘れてはならないのが、腎機能障害、透析腎不全です。膝から下の血管障害患者さまの多くが、糖尿病透析腎不全を併発しておられます。

▶下肢の症状でお困りの患者さまをぜひご紹介ください。

地域医療連携室 TEL.048-564-2537



行田総合病院 循環器内科 診療顧問・久保一郎 ICHIRO KUBO

大学卒業以来、循環器臨床一筋に歩んできました。最近10年は、狭心症、心筋梗塞など冠動脈疾患のインターベンション治療とともに、下肢閉塞性動脈硬化症のインターベンション治療に力を注いでおり、前病院では年間約90例の下肢動脈インターベンションを施行してきました。

当院へ赴任してまだ日は浅いのですが、徐々に治療症例は増加しております。冠動脈疾患インターベンションは言うまでもなく、埼玉県北部地域の下肢血管内治療の拠点となるべく、努力してまいります。

●昭和54年 東京医科歯科大学卒

●日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医 東京都医師会産業医

■久保医師外来担当表

行田クリニックB館	月	火	水	木	金	土
午前	○	○		○ (紹介外来)	○	○ (第2・4週のみ)

地域医療連携だより

2016年10月

■循環器内科からのご案内

循環器内科医長・那須医師から地域の先生方へ。

▶▶こんな患者さまはいらっしゃいませんか？

数年前に心筋梗塞の治療を受けた方

心筋梗塞の7年での再発率は2割、糖尿病合併の場合は7年で5割近いとの統計があります。

労作時に胸部症状が出る方

COPD・心不全・心因性なども含めて対応いたします。

何か「音」がする。

心電図がおかしい。BNPやNT pro BNPが異常値。

とりあえず一度ご相談ください。

危険因子が重複している方

「狭心症・心筋梗塞・動脈瘤」などの家族歴がある方。「糖尿病・脂質異常症・高血圧・腎機能低下」のある方。喫煙習慣のある方、肥満・運動不足の方など。

▶「心臓のチェック」をおすすめします。ぜひご紹介ください。 地域医療連携室 TEL.048-564-2537



行田総合病院 循環器内科 医長・那須 学 MANABU NASU

行田市民となってから6年が経過しました。行田市に住み「急性期の重症循環器疾患」に日夜対応し続けております。これからも積極的に循環器疾患の急性期診療に関わり、地域の皆さまが安心して暮らせる街づくりへの一翼を担っていきたくと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

●平成10年 山口大学卒

●日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会会員
日本不整脈心電学会 心電図検定1級 日本サルコペニア・フレイル研究会会員

■那須医師外来担当表

行田総合病院新南棟 1F	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○			
午後					○	

■三宅医師外来担当表

行田クリニック A館	月	火	水	木	金	土
午前						
午後		○		○	○	○